

## 平成30年度第1回狭山市空家等対策協議会（会議録）

- 開催日時 平成30年11月9日（金）午後1時30分から午後2時30分
- 開催場所 狭山市稲荷山環境センター 3階大会議室
- 出席委員 小谷野市長（会長）、熊谷委員（代理出席）、吉崎委員、磯部委員、奥富委員、坪井委員、松本委員、小野委員、栗原委員
- 欠席委員 1名
- 事務局 堀川都市建設部長、田中都市建設部次長（管理課長兼務）、西久保都市建設部次長（建築審査課長兼務）  
都市計画課：伊藤課長、沼田主幹、濱田主幹、町田主査、松井主査、水村主事補
- 傍聴者 1名
- 委嘱状交付
- 議 題 狭山市空家等対策協議会副会長の選出について
- 報 告 報告事項（1）狭山市空家等対策協議会について  
報告事項（2）狭山市における空家等対策について  
報告事項（3）その他

### ◎議事録

議 題 狭山市空家等対策協議会における副会長の選出について

委 員 東京都狛江市の空家等対策協議会の会長を務められている、松本委員を推薦する。

会 長 松本委員を推薦すると意見があったがいかがか。

委 員 （全員）異議なし

**【副会長、松本委員に決定】**

報告1 狭山市空家等対策協議会について、事務局から説明をした。

### 【質疑応答】

副会長 空家等対策計画の話があったが、いつ頃どの様な予定で作られるか。

事務局 次回協議会で提示できるか分からないが、今後空家等対策計画の素案を作成し、当協議会にお諮りした上、来年度中に策定したいと考えている。

### 【質疑終了】

報告2 狭山市における空家等対策について、事務局から説明した。

【質疑応答】

副会長 狭山市に住宅が何戸あるか。そのうち相談や問題があって空家データベースに登録された物件が447件、またその後、都市計画課による再調査によって292件と絞られたが、その数字がどの程度のものなのか。住宅・土地統計調査では全国的に空家率は13.5%とされており、この数字と比べて狭山市の空家等はいか少ないか。また、空家等の多い地区の特徴を教えてください。

事務局 空家データベースは、環境課がゼンリンに委託調査をしたものになる。環境課から引き継いだ際、それが本当に空家等かどうか分からない状態のものもあったため、再調査を行い292件という件数になった。狭山市の住宅戸数は、平成25年の住宅・土地統計調査によると69,640件あり、その内292件が空家等ということになる。また地区の特徴については、入曽・入間川地区に空家等が多く所在するとデータでは出ているが、昭和40年代頃に、不動産バブル的に建てられた地域が多く、子供が独立し、老夫婦となり段々と居住者が減ってきている状況から、空家等が多く存在すると考えられる。

副会長 住宅約7万戸に対する空家等292件はそれほど深刻な数字に思えない。今後、課題等が山積し深刻な状態になる前に、対策を講じる話とあって良いか。

事務局 補足する。平成25年住宅・土地統計調査によると、狭山市の空家等戸数は7,990戸、空き家率は11.5%と数字が出ている。しかし、これはかなり老朽化が進んだ物件だけでなく、人が居住していない物件も含まれたものである。空家データベースに登録された物件は特定空家等の予備軍として捉えるのが適切である。

会長 そうすると「空家データベース」というタイトルの表現が紛らわしくなるので、後日協議し表現を工夫するなど検討して欲しい。また、いわゆるアパートのようなものもこの7,990戸の中に含まれるか。

事務局 その通りである。

副会長 空家特措法における空家等は戸建てのことであるが、狭山市の空家等7,990戸の内、空室等が大変多いと理解した。人口が減少しているのに、空家等になった場合でも所有者が何らかの形で適正に管理・維持していれば問題視することはないと考える。

【質疑終了】

報告3 その他

事務局 今後の空家等対策協議会であるが、空家等の対策計画の素案作成状況により、また改めて予定し、詳細を通知させていただく。

【質疑応答なし】

<協議会終了>